

学会彙報, 奥付

雑誌名	漢文學會々報
巻	29
ページ	74-83
発行年	1970-09-20
URL	http://hdl.handle.net/2241/00149137

學 會 彙 報

○昭和四十四年度漢文學會總會

九月二十日(土) 於豊島區民センター第四第五會議室

〔研究發表會〕 十時~十二時 司會 内山、向島、前田各氏

一、〔無爲〕と〔偽〕 大學院 中村 俊也氏

一、陶淵明の作品に現れた植物について

——その自然觀察考への一手がかりとして

戸山高枝 中川 太郎氏

大學院 松尾 善弘氏

一、〔五四〕期における蔡元培

〔漢文教育研究會〕 午後一時~三時

討論會「漢文學研究と漢文教育」

問題提起者 江連 隆氏(戸山高枝)

松尾 善弘氏(大學院)

〔總會〕 司會 高橋委員

一、議長選出 水澤利忠氏選出

一、牛島委員長挨拶

一、報告並びに議事

(1) 報告

(4) 庶務報告

(6) 研究一部報告

高橋委員
横山委員

(4) 研究二部報告

(2) 議事

(1) 昭和四十三年度會計

(6) 昭和四十四年度豫算

一、閉會の辭

〔懇親會〕

豊島振興會館食堂において三十余名の参加をえて行なう。

高橋委員
横山委員
横山委員

○昭和四十四年度月例会

○十月十八日(土)

一、訪中旅行報告

一、總會の總括

○七月十八日(土)

一、楊朱派の存在とその先秦諸家との思想的關係についての

一試論

一、文藝大衆化問題と張天翼について

大學院 山中 恒己氏
大學院 近藤 龍哉氏

○昭和四十五年度漢文學教室講義一覽

(一) 一般教育科目

鎌田教授 漢文學講讀

米山講師 //

鈴木助教 //

(二) 外國語科目

(思想)
//
(文學)

牛島教授 (中國語一) (文法)

松本助教 (文法) (〃)

陳講師 (會話) (〃)

長谷川講師 (作文) (〃)

志村講師 (文法・作文) (〃)

中村講師 (讀本) (〃)

伊藤講師 (讀本) (講讀)

戸川講師 (講讀) (上級)

鎌田教授 (中國思想史)

牛島教授 (中國哲學演習(論語集注))

今井助教 (中國言語學演習(現代漢語))

〃 (中國哲學特講)

〃 (中國哲學演習(墨子))

〃 (中國哲學演習(莊子))

〃 (中學哲學概論)

〃 (中國文學史(晚唐))

〃 (中國言語學演習(文選))

〃 (中國言語學演習(郁達夫))

〃 (中國言語學講讀)

横山講師 (中國文學特講(文學論))

〃 (中國文學演習(宋詩))

〃 (中國文學演習講讀(現代詩))

川瀬講師 (日本漢文學特講)

陳講師 (中國言語學演習)

尾上講師 (中國文學講讀(故事新編))

赤塚講師 (中國上代思想史)

全教官 (特別演習)

(四) 大學院科目

鎌田教授 (白虎通の研究)

牛島教授 (中國言語學特講)

今井助教 (周易正義の研究)

鈴木助教 (中國文學史の考え方)

松本助教 (中國言語學講義)

横山講師 (中國詩論史)

○文學部紀要論文

鮑照「擬行路難」について

仲尼弟子列傳について

○修士論文

一、管子研究——法家思想を中心として

一、閑情賦考

一、庾信研究

向島成美

高橋均

兒玉彦彦

櫻田芳樹

高木重俊

- 一、杜甫の研究
- 一、伯牙琴と明夷待訪録

陳 瑤 璣
津 田 亨

○昭和四十四年度學部卒業論文題目

- 一、艾蕪とその文學についての試論

川 奈 部 昭

- 一、郁達夫研究

鶴 岡 憲 一

- 一、李大釗とマルクス主義

——「我的馬克思主義觀」を出發點として

中 島 東

- 一、趙樹理の文學研究

橋 本 佑 一 郎

- 一、韓非の生涯

今 西 理 郎

- 一、莊子の齊同論理について

大 島 晃

- 一、西廂記研究

大 橋 惠 子

- 一、曹植詩研究

後 藤 秋 正

- 一、「文心雕龍」における文學理念

杉 崎 澄 江

- 一、孔子の思想——學問と禮を中心として

中 田 浩 一

- 一、司馬遷の文學觀

野 原 薰

- 一、老子試論

堀 池 信 夫

- 一、李清照詞論

百 瀬 ま つ 枝

- 一、「國防文學論争」研究

吉 原 英 夫

○尾關富太郎氏（文理大第八回卒業 東京教育大學附屬高校教諭）
には、病氣のため昭和四十五年七月八日、亡くなられました。こ
こにつつしんで哀悼の意を表します。

遺族 東京都文京區大塚六―二十二―十五

尾 關 美 登 利

大陸版のリプリント

が香港で續々と作られております

弊店の中國新刊書速報は それらの最新情報を 出来る
丈 集めるよう 努力しております

中國書輸入
和漢古典籍
古書全般

東京大學正門前

琳 琅 閣 書 店

東京都文京區本郷6丁目1—14
〒113 電話811・6555

中国食品事典

A5判 四四〇頁 書籍文物流通会
定価 二、八〇〇円 中国料理研究部編

(送料サービス)

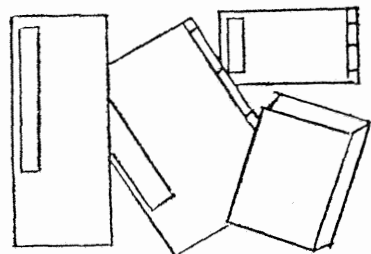
- * 中国食品についてコンパクトにまとめられた世界最初の中国食品事典の決定版です!
- * 中国研究には不可欠の座右の書。中国料理の研究者、調理師、中国文学研究者、中国事情研究の上で渴望されていた事典です。
- * 食品に関する故事・歴史・食物成分表・図版・写真版・資料統計表等が豊富満載!
- * 今までわからなかった中国食品の正体を具体的に詳細に小項目事典の形態でまとめられています。
- * 読みものとしても楽しめるすばらしい事典です。

発行所

株式会社
書籍文物流通会

東京都文京区本郷六ノ五ノ一五 〒113
連絡先 電話東京03八一一―四六〇六番
振替番号 東 京二一一 九九六番
文京区本郷局私書箱68号

和・漢 籍
古 書 賣 買



松 雲 堂 書 店

東京都千代田區神田神保町3~1
電話・東京 九 段 6498

基本大學教科研究教材
 纂標 大學中庸章句全 三〇〇圓
 文章軌範評注全 三島 毅 四五〇圓
 纂標 論語集註全 瀧川龜太郎 三〇〇圓
 標注十八史略上 池田四郎次郎 五〇〇圓
 纂標 孟子集註全 五〇〇圓
 王陽明傳習錄講本 山田 準 六〇〇圓
 訓注 史記會注考證 瀧川龜太郎 三〇〇圓
 漢詩作法小講話 濱隆一郎 一二〇圓
 石川梅次郎・原田種成訓注
 列傳1 伯夷列傳・老莊申韓列傳 三〇〇圓
 覆製 秦根譚 三五〇圓
 列傳2 管晏列傳・廉頗藺相如 二五〇圓
 影印 春秋左傳異名考・古器圖 三五〇圓
 世家1 孔子世家 四〇〇圓
 此れ以外もご注文により發行致します。

中 國 歷 代 詩 集

漢魏六朝百三家集	5 冊	¥	8,750
全 唐 詩	8 冊	¥	7,200
宋 詩 鈔	3 冊	¥	5,040
全 金 詩	2 冊	¥	4,320
元 詩 選	2 冊	¥	3,600
明 詩 綜	2 冊	¥	4,320
清 詩 匯	8 冊	¥	10,560

東京都千代田區神田神保町2-7

有 限 會 社 山 本 書 店

電 話 (261) 0 8 4 7 ・ 9 3 3 7

學書通論

■國文學・漢文學・史學の研究者必携の書

■世界の文字・漢字かなの基礎知識

■書書の理論・書道史・書教育のすべて

著者

石橋 犀水 文學博士・二松學舎大學教授

志村 和久 千葉大學助教授・東京教育大學講師

B 5 判・160ページ・總アート・定價880圓・千90圓

志村和久編 100圓

制作(揮毫)の資料

修文館出版株式會社

東京都千代田區神田神保町1-39

電話(代表)東京(03)291-1231

中國文學研究者必携の書!

史記

香港中華書局

(精)全三冊 七、二〇〇

(並)全十冊 四、八〇〇

二十五史

香港文學研究社

全九冊附人名索引

五、〇〇〇

清史稿 上下

香港文學研究社

一、二、八〇〇

古史辨

香港太平書局

全七冊 二四、〇〇〇

金瓶梅詞話

大安影印 二〇、〇〇〇

1~5

水滸 上下

作家出版

七五〇

三國演義 上下

作家出版

七五〇

儒林外史

香港太平書局

三六〇

西遊記 上下

香港商務印書館

七五〇

聊齋志異選

香港中華書局

三六〇

電話(294)0671 內山書店 東京都千代田區神田神保町1-15

中國關係出版案内

和刻本正史 梁書・南齊書

荻生徂徠句讀・松會堂刊縮印/B5洋裝上製
梁書 二八〇〇圓 南齊書 三三〇〇圓

和刻本正史 唐書(全四冊)

堀正脩校訂 下村鵬刻版縮印/B5洋裝上製
全四冊/各四五〇〇圓 以下續刊 晉書・宋書・陳書・隋書・南史・北史等每月一冊刊行

樂府詩集の研究

中津濱涉著——本文・引用書考・索引——
B5頁/一〇〇〇頁/上製/定價六〇〇〇圓

靜盦漢籍解題長編 第一・二卷

長澤規矩也著 白筆稿本影印 第一卷 貴重
書・經部/第二卷 史部/定價七〇〇〇圓

唐話辭書類集 第一・三集

古典研究會編 長澤規矩也解題 一集二九〇
〇圓 二集三〇〇〇圓 三集三三〇〇圓新刊

對校經典釋文集成 第一輯

經典釋文綜合研究(代表者 內野熊一郎)編
序録篇・周易・論語・春秋穀梁傳四冊一組
B4並製/六〇〇〇圓/各冊分賣も可

東京都文京區後樂一―一―四
電話(812)元三振替東京二五〇五
汲古書院

中國書籍センター 海風書店 東京都千代田區神田神保町1-56
Tel 291-4344

- 介紹新刊 ①朱子語類 宋黎靖德 據：臺灣國立中央圖書館藏本影印
編輯 據：日本內閣文庫藏覆成化本修補
附索引 A5 全8冊定價16,000 (中文出版社)
- ②佩文韻府 清・張玉書等奉勅撰 附部首索引 A5 全8冊 定價¥12,000 (中文出版社)
- ③章氏叢書 章炳麟著 A5 全2冊 ¥4,800 (中文出版社)
- ④道咸同光四朝奏議 國立故宮博物院清代史料叢書精楷鈔本影印 A5 全12冊 (商務印書館) ¥28,000
- ⑤類書薈編第一期四種
○原本北堂書鈔精8冊
○意林六卷補一卷精冊
○太平廣記五百卷 精20冊 贈校勘記1冊(現排印中)
○類說六十卷 附宋刊本三卷 精10冊 A6 全39冊
¥108,000 (藝文印書館)
- ⑥宋刊施願註蘇詩 (線裝本34卷) ¥124,000 (藝文印書館)
- ⑦說文解字注附索引 段玉裁注 B5 全1冊 ¥1,100 (藝文印書館)
- ⑧三才圖會 B5 全6冊 (106卷) 明圻等撰 ¥38,000 (成文出版社)
- ⑨三代吉金文存 全4冊羅振玉類次(龍門) ¥115,000
- ⑩羅雪堂先生全集 初編 續編 三編 各編20冊 (文華)定價各¥35,000
- 關係會社 東海書店 京都市左京區田中門前町98 Tel (075) 791-6592

漢文読解に必備!

新選漢和辞典 改訂 新版

小林信明 編

B 六小判
一三二二頁

定価六八〇円

小学館の辞典をあなたの座右に!

◆ 親字八千余。見出し語約七万。

◆ 親字には現代中国音を明示。見出し語には、現代中国語も採録。

◆ 用例は高校教科書を総当たり。かつ、全文読みくだしつき。

◆ 学習・実務に便利な付録二十六種。

国語生活を豊かにする

新選国語辞典 改訂 新版

金田一京助 B 六小判
大石初太郎編 一一六〇頁
佐伯梅友 特価五八〇円

古典の学習と研究に最適

新選古語辞典 改訂 新版

中田祝夫編 B 六小判
一三四四頁
定価七〇〇円

■不朽の名著、最も権威ある本格的漢和字典

大字辞典

上田万年・岡田正之・
飯島忠夫・栗田猛猪・
飯田伝一 共編

●特装版(A5豪華本)四、五〇〇円

●普及版(B6縮刷版)二、四〇〇円
●親字数一万余。熟語数十四万。字源の解釈は最も詳しい。実用的な慣用語・名もの・草言葉の記述。当用漢字索引や現代かなづかいの要領などを増補

■漢字辞典・用字用語辞典を兼ねた斬新な国語辞典

講談社国語辞典

久松潜一
林 大 監修
阪倉篤義

●小B6判 総一、二一六頁 五五〇円

*総語数七万二千。同音異義語・重要語を*印で指示。故事・成語・慣用語を多数収録。漢字音訓総覧など付録充実

■主要古典の総語彙を徹底的に網羅した画期的辞典

講談社古語辞典

佐伯梅友 共編
馬淵和夫

●小B6判 総一、一九四頁 七五〇円

*十一大古典の総語彙四万五千を収録。出典分布明示。正確な解語・解釈・用例。古典読解事典など豊富な付録

■江戸文学の全貌を体系的に集大成した唯一の評釈叢書

評釋江戸文学叢書 完全覆刻版 全十一巻

各三、八〇〇円
(索引二、〇〇〇円)
*内容案内進呈

東京都文京区音羽二一一二一二二
振替 東京三九三〇

講談社

大学漢文 テキスト

■大学の一般教養課程を主たる対象とする ■一年ないし半年間で消化できる分量 ■単一作品または同系作品による編成 ■語釈は主として訓詁・出典の提示による ■関連文献を原文によって付載して、正確な読解と歴史的・文学的展望の補助とする。

編集 漢文資料編集会議 (尾上兼英・高田 淳・戸川芳郎・西 順蔵)

楽府詩

漢魏六朝時代の民衆の生活・感情にかかわりの深い古楽府を楽府詩集より採り、古詩源・玉台新詠等により校訂

▼菊判・五六頁・定価一八〇円

太史公自序・

報任安書

本文には夫々史記とその注(集解・索隱・正義)、文選と李善注を採り、漢書司馬遷伝と対校して顔師古注を付す。

▼菊判・七二頁・定価二四〇円

史記 秦本紀

中国古代史の基本資料の一、史記秦本紀とその注(集解・索隱・正義)の全文を分段し、編者の注を併せ付す。

▼菊判・六四頁・予価二二〇円

六朝志怪小説

現世の異聞、遊仙譚、幽冥界の三部に分け、風俗通義・搜神記・幽明録等より六朝説話の仏教化の経緯が分るよう配列する。

▼菊判・六四頁・定価二二〇円

神話と伝説

山海経・神異経・述異記・左伝・莊子・史記等より歴史化小説化される以前の中国民衆の神話・伝説を編む。

▼菊判・九六頁・定価二八〇円

韓非子

二柄・孤憤・説難・五蠹の四編を採録。「韓非子集解」を底本とし、諸家の注を勘案整理して夾注とする。

▼菊判・四八頁・定価一六〇円

世説新語

德行第一、仇陳第三六の全篇の中から、七〇余話を採り、必要に応じて劉孝標の注を加える、巻末に登上人物の略伝を付載する。

▼菊判・七二頁・定価二四〇円



大修館書店

東京 錦町 3-24
神田 4-05-04
振替

○東京教育大學漢文學會々々

一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。

二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。

三、本會の會員は左の通りである。

- 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大学、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）
- 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大学漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
- 3 その他入會を希望する者

四、本會の主な事業は左の通りである。

- 1 總會 年一回
 - 2 例會 年約七回
 - 3 會報及び會員名簿の發行
 - 4 その他必要な事項
- 五、本會の役員は左の通りである。

委員長 一名

委員 若干名

六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。

七、委員長は委員の互選による。

委員は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、專任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。

八、會員は會費年額六百圓（但し學生は半額）を納める。

九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

後記

今年度も會員の皆さんのご協力により、ぶじ會報發行のはこびとなつた。昨年につき九月の大會開催と會報發行である。今年もは敗戦二十五周年ということ、なにかにつけ、マスコミはそれを取り上げている。しかし、同時に中國に對して加害者としての立場をはつきりさせたのが、三十九年前である、ということも忘れてはなるまい。戦後二十五周年をのみ強調することがともすれば被害者であると意識させ、加害者であつたことを忘れさせる作用があるのではないかと思われるのだが。

（高橋記）

漢文學會々報第廿九號 昭和四十五年九月十五日 印刷
昭和四十五年九月二十日 發行

（非賣品）

東京教育大學漢文學會

編輯者

内山 知也
高橋 均

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ一〇
株式會社 共立社 印刷所
電 〇二〇二八

發行所

東京都文京區大塚三十一廿九一
東京教育大學漢文學會
振替東京四七六〇〇番